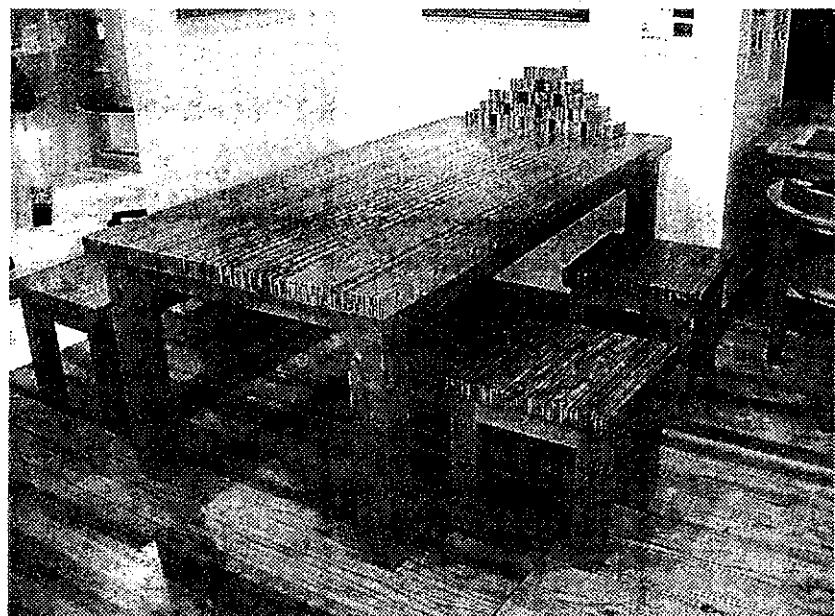


オリジナル家具の需要に応える

マルダイ家具部 静岡県富士市

大理石端材の活用が好評



プレカット端材（ラージ合板、桧材）で製造されたテーブルセット

には環境事業という側面もあり、自社プレカット工場から出るラージ合板や桧材の端材を再利用したダイニングテーブルなどを製造している。昨年には大型家具展「シズオカKAGUMETSU2008」に出品して話題を呼んだ。また、最近では地元の建材加工業者で排出される人工大理石の端材を使ったりサイクル製品が好評。壁材やキッチン笠木、幅木などに活用されている。

「意外にリサイクル活用にしている業者が少ない。地元連携のため横持ち費用も軽減される」（家具部の鈴木肇部長）。施工する工務店も腕が上がっており、差別化効果が増しているという。

09年も環境対策（リサイクル活用）を追求していく方針。また最終ユーザーに対してはインターネットを使った情報発信を、製造に

の需要に込んでいる。どユーザーの気に入っ

同社家具部は、既製た「パーツ」にあわせ品の一般家具注文の対応が主業務だったが、多種多様。神奈川県湘デザインーズ住宅など南地区などの高級ユーザー層をターゲットとしたオリジナル家具の供給要請が増加して（最終顧客）に据え、寸法やデザインにあわせたオリジナル家具の製作・供給を本格化。現在は地元の牧野工匠、丸京製作所、ワンハンドなど加工業者とネットワークを組んで受注対応を進めている。製品は特注の収納家具、キッチン、テーブルから、船舶用の窓な

大型木材小売店のマルダイ（静岡県富士市、深沢裕一郎社長）では、07年の創業40周年を機に「価格競争から価値競争へ」をテーマに据え、工務店支援事業を強化中。この一環として同社家具部で進められているのが、加工業者等との水平ネットワークによるオリジナル家具の製造・販売。インターネット時代を反映したこだわりの

注対応を進めている。バーすることで工務店

の差別化を支援してい

たいとしている。